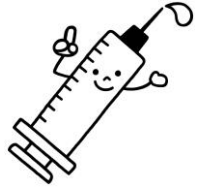


定期接種対象年齢になったら **すぐに**

麻しん・風しん (MR)

予 防 接 種



をうけましょう

◇麻しん (はしか) とは・・・

38 度以上の発熱と発疹がみられる感染症です。感染力が非常に強く、合併症を起こしやすいため、特に乳幼児では肺炎などの併発により死亡することがあります。また、乳幼児期以降であっても、脳炎などの併発により死亡したり、重い後遺症を残すことがあります。麻しんにかかってから、数年から数十年経過した後に、『亜急性硬化性全脳炎』という重い脳炎を発症することもあります。近年では海外から持ち込まれたウイルスでの発症が増えており、全国各地で流行が見られています。



◇風しんとは・・・

発熱と発疹、リンパ節の腫れがみられる感染症です。患者の咳やくしゃみを吸い込むことで感染します。「三日はしか」と呼ばれることもあるように、症状は 3 日程度で軽減しますが、血小板減少性紫斑病や脳炎を合併することがあります。また、妊娠早期の妊婦が風しんにかかると、心臓や目、耳などに障害を持った、『先天性風しん症候群』の赤ちゃんが生まれる可能性があります。国内では平成 25 年に首都圏や関西を中心に流行し、いつまた流行してもおかしくない状況です。(市では妊娠を希望する 22 歳から 50 歳の女性に抗体検査・予防接種の費用助成を行っています。詳しくは健康課へお問い合わせください。)



麻しん・風しんの予防には予防接種が有効です!!

麻しん・風しんのウイルスに特效薬はありません。また、ウイルスは空気中に拡がるため、完全に接触しないということは不可能です。麻しん・風しんワクチンの効果は非常に高く、接種することにより免疫をつけ、感染を予防することが有効です。



麻しん・風しんの予防接種は、 2回接種が必要です

定期接種の時期

- 1期：満1歳～2歳未満の1年間
- 2期：小学校入学前（年長児）の1年間

予防接種を2回受けることで、より確実に免疫をつけることができます。

◆この時期を逃すと、全額自己負担となります。（おおよそ1万円くらいかかります）進学や就職の際に、接種履歴をもとめられる場合も増えています。また、海外では、2回接種していないと渡航や滞在が制限される国もあります。この機会を逃すことなく、体調の良い時に早めに予防接種を受けましょう。

■ お問い合わせ ■

いずれも 月～金曜日 8:30～17:15（祝日除く）

鶴岡市健康課 母子保健係（鶴岡市泉町5-30 総合保健福祉センターにこ♥ふる1階）
☎25-2111（内線373）

■ 各地域庁舎 市民福祉課 ■

・藤島庁舎 ☎64-2111（内線113）	・羽黒庁舎 ☎62-2111（内線106）	
・櫛引庁舎 ☎57-2116（直通）	・朝日庁舎 ☎53-2111（内線325）	・温海庁舎 ☎43-4613（直通）